



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 石油資源開発株式会社

コード番号 1662 URL <http://www.iapex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 修

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長

(氏名) 中本 亮一

TEL 03-6268-7110

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日

平成26年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	146,850	22.1	15,110	30.9	24,736	24.3	18,873	18.8
26年3月期第2四半期	120,281	13.5	11,543	549.1	19,902	549.9	15,883	—

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 30,375百万円 (151.7%) 26年3月期第2四半期 12,067百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	330.23	—
26年3月期第2四半期	277.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	696,945	—	526,345	—	—	65.0
26年3月期	663,038	—	496,915	—	—	63.7

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 453,010百万円 26年3月期 422,336百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
27年3月期	—	25.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	324,378	17.3	34,681	40.8	48,819	11.2	35,374	21.9	618.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	57,154,776 株	26年3月期	57,154,776 株
27年3月期2Q	2,139 株	26年3月期	2,139 株
27年3月期2Q	57,152,637 株	26年3月期2Q	57,152,637 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

平成26年11月10日に機関投資家・証券アナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定ですが、同説明会で配布する資料についても、説明会開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注意事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
生産・販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における売上高は146,850百万円と前年同期に比べ26,568百万円の増収(+22.1%)となり、売上総利益は34,515百万円と前年同期に比べ2,354百万円の増益(+7.3%)となりました。前年同期に比べ増収増益となった主な要因は、海外原油及び海外天然ガスの販売数量が増加したことや、国内天然ガスの販売価格の上昇によるものであります。

探鉱費は、海外探鉱費用は増加しましたが、国内探鉱費用が減少したことにより3,260百万円と前年同期に比べ2,463百万円減少(△43.0%)し、販売費及び一般管理費は16,143百万円と前年同期に比べ1,250百万円増加(+8.4%)した結果、営業利益は、前年同期に比べ3,567百万円増益(+30.9%)の15,110百万円となりました。

経常利益は、主に持分法による投資利益の増加により前年同期に比べ4,834百万円増益(+24.3%)の24,736百万円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、前年同期に比べ4,845百万円増益(+24.3%)の24,750百万円となり、法人税等及び少数株主持分を差し引いた四半期純利益は、前年同期に比べ2,990百万円増益(+18.8%)の18,873百万円となりました。

なお、売上高の内訳は次のとおりであります。

## (イ) 原油・天然ガス

原油・天然ガス(液化天然ガス(LNG)及びピチューメンを含む)の売上高は、主に海外原油及び海外天然ガスの販売数量が増加したことに加え、販売価格が上昇したことに伴い、120,415百万円と前年同期に比べ25,801百万円の増収(+27.3%)となりました。

## (ロ) 請負

請負(掘さく工事及び地質調査の受注等)の売上高は、3,250百万円と前年同期に比べ754百万円の減収(△18.8%)となりました。

## (ハ) その他

液化石油ガス(LPG)・重油等の石油製品等の販売、天然ガス等の受託輸送及びその他業務受託等の売上高は、23,184百万円と前年同期に比べ1,521百万円の増収(+7.0%)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ33,907百万円増加し、696,945百万円となりました。主な増加要因は、建設仮勘定ほか有形固定資産合計が31,584百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,476百万円増加の170,599百万円となりました。増加要因は、固定負債が主に繰延税金負債の増加により合計で4,070百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ29,430百万円増加し526,345百万円となりました。主な増加要因は、利益剰余金が18,742百万円増加したことに加え、その他の包括利益累計額合計が11,932百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が当初公表予想（平成26年5月12日）を上回る見通しとなりました。これは原油販売数量の減少などの減益要因はあるものの、油価の上昇及び為替の円安による販売価格の上昇に加え、持分法による投資利益が増加するなどの増益要因が上回ることによるものです。

なお、今回の業績予想の前提となる原油価格と為替は、第3四半期（平成26年10月から平成26年12月の間）の原油価格を100ドル/バレル、為替レートを105円/ドル、第4四半期（平成27年1月から平成27年3月の間）の原油価格を85ドル/バレル、為替レートを105円/ドルと想定しております。

詳しくは、本日平成26年11月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①原価差異の繰延処理

操業度の時期的な変動により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

## ②税金費用の計算

税金費用については、当社及び一部の連結子会社は当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## （退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の計算方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,874百万円減少し、利益剰余金が1,297百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	81,031	71,776
受取手形及び売掛金	37,222	21,223
有価証券	41,203	46,119
商品及び製品	4,653	4,841
仕掛品	128	290
原材料及び貯蔵品	6,285	8,877
その他	24,731	19,201
貸倒引当金	△48	△40
流動資産合計	195,209	172,289
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	88,541	102,198
その他(純額)	112,011	129,938
有形固定資産合計	200,552	232,137
無形固定資産		
その他	11,365	11,270
無形固定資産合計	11,365	11,270
投資その他の資産		
投資有価証券	190,765	217,837
その他	69,468	68,287
貸倒引当金	△39	△39
海外投資等損失引当金	△4,284	△4,838
投資その他の資産合計	255,910	281,247
固定資産合計	467,828	524,655
資産合計	663,038	696,945

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,610	6,832
短期借入金	28,169	36,811
引当金	370	558
その他	31,304	39,659
流動負債合計	83,454	83,861
固定負債		
長期借入金	21,636	20,874
繰延税金負債	32,509	40,045
引当金	936	924
退職給付に係る負債	6,845	4,561
資産除去債務	16,001	16,057
その他	4,738	4,274
固定負債合計	82,668	86,738
負債合計	166,123	170,599
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,288	14,288
利益剰余金	318,433	337,175
自己株式	△10	△10
株主資本合計	332,711	351,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,856	100,345
繰延ヘッジ損益	△56	△43
為替換算調整勘定	5,166	1,558
退職給付に係る調整累計額	△340	△303
その他の包括利益累計額合計	89,624	101,557
少数株主持分	74,579	73,335
純資産合計	496,915	526,345
負債純資産合計	663,038	696,945

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	120,281	146,850
売上原価	88,120	112,334
売上総利益	32,161	34,515
探鉱費		
探鉱費	5,728	3,387
探鉱補助金	△4	△126
探鉱費合計	5,723	3,260
販売費及び一般管理費	14,893	16,143
営業利益	11,543	15,110
営業外収益		
受取利息	1,209	1,154
受取配当金	1,181	1,104
持分法による投資利益	4,041	7,187
その他	2,394	1,204
営業外収益合計	8,826	10,651
営業外費用		
支払利息	270	318
海外投資等損失引当金繰入額	—	558
その他	197	148
営業外費用合計	467	1,026
経常利益	19,902	24,736
特別利益		
補助金収入	40	42
その他	0	0
特別利益合計	41	42
特別損失		
固定資産除却損	35	28
その他	2	—
特別損失合計	38	28
税金等調整前四半期純利益	19,905	24,750
法人税等	3,983	4,781
少数株主損益調整前四半期純利益	15,921	19,968
少数株主利益	38	1,095
四半期純利益	15,883	18,873

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,921	19,968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,852	15,483
繰延ヘッジ損益	△437	6
為替換算調整勘定	3,459	△5,084
退職給付に係る調整額	—	37
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	△35
その他の包括利益合計	△3,854	10,406
四半期包括利益	12,067	30,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,745	30,805
少数株主に係る四半期包括利益	322	△430

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 生産・販売の状況

## ① 生産実績

		前第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	(参考) 前連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
原油・天然 ガス	原油 (kl)	209,333 (9,935)	959,072 (759,035)	828,870 (424,040)
	天然ガス (千m <sup>3</sup> )	504,685 (38,774)	627,616 (194,138)	1,104,533 (170,549)
	液化天然ガス (t)	10,803	894	12,235
	ビチューメン (kl)	165,551 (165,551)	152,305 (152,305)	344,757 (344,757)

- (注) 1. 原油、天然ガス及びビチューメンの( )は海外での生産であり、内数です。  
2. 天然ガスの生産量の一部は、液化天然ガスの原料として使用しております。  
3. ビチューメンとはオイルサンド層から採取される超重質油です。

## ② 販売実績

		前第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		(参考) 前連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
		数量	金額 (百万円)	数量	金額 (百万円)	数量	金額 (百万円)
原油・天然 ガス	原油 (kl)	712,272	48,808	954,605	68,118	1,559,888	108,408
	天然ガス (千m <sup>3</sup> )	614,873	31,883	775,207	37,458	1,418,963	71,584
	液化天然ガス (t)	91,037	8,811	88,749	9,455	268,510	26,202
	ビチューメン (kl)	165,479	5,110	152,709	5,382	342,565	10,962
小計			94,614		120,415		217,157
請負			4,005		3,250		8,740
その他	石油製品・商品		17,813		19,550		42,860
	その他		3,849		3,633		7,830
小計			21,662		23,184		50,691
合計			120,281		146,850		276,588

- (注) 1. 「石油製品・商品」には、液化石油ガス(LPG)、重油、軽油、灯油等が、「その他」には天然ガス等の受託輸送及びその他業務受託等が含まれております。  
2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。